

12月の保健だより



たかさご保育園

朝晩の冷え込みと日中の暖かさの温度差でカゼをひきやすい季節ですね。園では、11月下旬より、インフルエンザが発生しています。地域的には、インフルエンザと嘔吐・下痢(感染性胃腸炎)が、流行しているようですので、気をつけましょう！

今年度(11月)より、園内での感染症の蔓延防止のために、幼児(3才～5才)は、登園後、「手洗い・うがいをしてからの受入れ」のご理解・ご協力を引き続き、お願い致します。子どもたちの生活に定着するまでは、こまめな、言葉がけと見守りをしていきましょう。

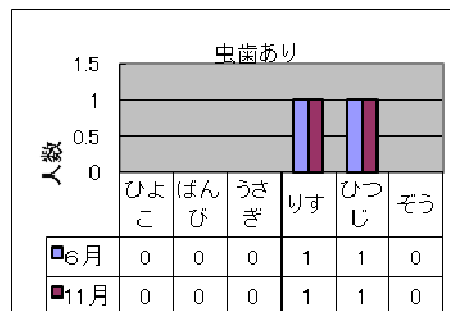
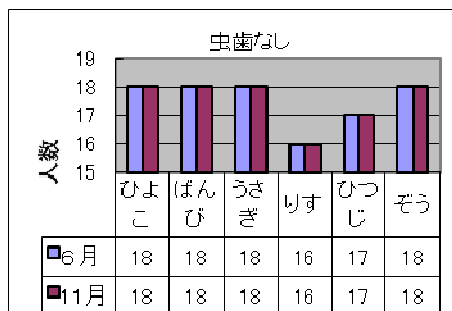
保健行事

0才児健診 12月10日(火曜日)14時30分より 嘱託医 吉崎先生

※地域の方の参加(健康相談等)も歓迎致します。身長・体重測定もしています。

歯科健診

全園児終了しました。園における健診の目的は、早期発見、早期治療で子どもの心身の健康を守ることと、幼児(4才児)からは自分で守ろうと思う意識づけもあります。結果は下記のとおりです。乳歯の虫歯は、悪くなりやすいので、早めに歯医者さんで治療してもらいましょう。



歯ブラシのえらび方

- 乳歯は、子どもの口にあう大きさの歯ブラシが良いでしょう。
- 歯ブラシを後ろから見た時、毛先が開いていたら新しい歯ブラシに交換しましょう。
- 3～5才児クラスは、歯ブラシへの記名を忘れずにお願いします。



冬に多い(乳児)嘔吐下痢症

この時期になると、年齢が低い子ほど、ひどい下痢をともなったカゼをひくことがあります。ロタウイルスが原因です。熱は微熱程度で、出ない事もあります。吐いたり下痢したり症状は、熱のカゼよりも体力の消耗が激しく、回復にも時間がかかります。感染力が強く、また短い潜伏期のため集団の中で移りやすい病気の一つです。

乳児の場合、重症な脱水症状をおこすことがあります。症状のある時は、早めに医師の診察を受けて、**安静と水分補給**に心がけましょう。



裏もあります

今月は、園での衛生面の対応について、お知らせいたします。
詳しくは、入園時に配布致しました『ほけんのしおり』もご参考にして下さい。

保健衛生に衛生水を使用

- ・**衛生水とは：強酸性水のこと**です。強酸性水は水道水と塩（塩化ナトリウム）を電気分解することによって得られる水で、**pH3.0** 以下です。pH だけではなくて、食塩水を電気分解すると活性された次亜塩素酸が生成され、特に、この成分が殺菌力を発揮します。安全性は高く、また、菌に触れると殺菌する代わりに、普通の水に戻る習性がありますので、安全だと言われていいます。強酸性水は通常の水道水と比べ軽度の塩素臭がする程度で、手などでの感触も通常の水道水と何ら変わりがなく刺激性は全くありません。強酸性水は、その優れた殺菌効果に加え、無色透明でやや塩素臭があるものの皮膚への刺激性がほとんどありません。
- ・**効果**：♠ 殺菌作用♠ 肌のひきしめ作用♠ 肉芽形成促進作用♠ かゆみ・炎症抑制作用
- ・**利用**：ひよこ 2 組の室内衛生面全般と、園児の傷消毒、排泄・吐物処理、掃除など、
- ・**アルカリイオン整水器の設置**：本園 3 階

消毒にオゾン水を使用

- ・**オゾン水とは**：オゾンは、自然大気中に存在しており、酸素と同素体である無色の気体です。オゾンを特殊な技術により水中に溶け込ませた**水自体に殺菌力のある水**を『オゾン水』といいます。オゾン水の主原料は水と空気から出来ており、何の添加物も使用しておらず、オゾン自体が非常に不安定な物質であるため残留性がありません。
- ・**効果**：
 - ・オゾン水は肌に優しく、安全性が高く、殺菌・脱臭・漂白水となり、無公害
 - ・赤ちゃんからお年寄りまで、殺菌・消毒したい食器や食品から玩具、何にでも安心して使用できる殺菌水で殺菌力は塩素の 7 倍
 - ・残留性がなく、安全・無害なので、野菜の洗浄やまな板など器具の洗浄にも使用可
 - ・オゾン水は、不安定な性質により、オゾンが、酸素に変わり、15 分位で水にもどるので残留性がない
- ・**利用**：ひよこ 1 組の室内衛生面全般、園内の玩具の消毒全般など、キッチンの野菜の洗浄やまな板など器具の洗浄
- ・**オゾン生成器の設置**：キッチン、ひよこ 1 組の調乳室、



オゾン発生器について

- ・**オゾン発生器の設置**：ひよこ 1 組、ひよこ 2 組、キッチン、本園保育室
室内の消毒をひよこ 1 組、ひよこ 2 組、キッチンは毎日、
1 才児から 5 才児クラスは、1～3 回/週、行っております。
- ・その他に、各クラスに温湿度計、空気清浄器、適時に加湿器を設置して、環境に配慮しています。
- ・**感染症発生時の対応**
感染症発生時は、「感染症対応マニュアル」に添って対応しています。また、園では、日頃から感染症対策として、玩具の消毒や室内の衛生にに取り組んでいます。オゾン発生装置による保育室の消毒とオゾン水、衛生水(強酸性水)による玩具の消毒の徹底にも努めています。

